

意志あれば 道あり 『してもらう』から『こうしたい』へ

**情熱をもつ。熱意をもつ。夢をもつ。
知的ハードワーキングに徹する。**

**すぐやる。必ずやる。
できるまでやる。**



守山が、好きだから、守山を、こうしたいと、思い続けて29年以上の歳月が経ちました。
父、繁造の言葉、姿、教え、こんなことが、蘇ってくるのです。高度成長の礎を創って下さった先人の人々の思いが…。それによって、日本は、確かに裕福になりました。
しかし、今日誰もが想像をしなかった時代へと突入したのです。
かと言って、立ち止まっては、いられません。のぼり坂もあれば、くだり坂もある、そして、まさかという坂もあるのです。そのまさかに備え、今こそ、第2弾の『してもらう』から『こうしたい』にシフトをさらに変えなければなりません。
又、うるさい堀井が言うところ、何かあるんと違うかと思って頂いてもかまいません。
今の社会情勢、是は是、否は否としっかりと目で、世界を、日本を、守山を見極めて欲しいのです。
表面だけの先入観だけで評価してほしくないんです。しっかりと、今という時期を、自分の足元をみて欲しいのです。

自分の子たちに託す前に、今ある自分自身のあるべき姿を子たちに素直に見せる時代がやってきたのです。
街が良くなれば言いという、『してもらう』から『こうしたい』への思いをもっと強くもって欲しいのです。

こんなことを自問自答しながら新世紀を担う子どもの姿を夢見てやみません。そのために、少しでも環境を整え、社会奉仕に役立つひとつの個性を育てるために、日々研鑽に努めています。子の成長とともに私達も成長する時代だと痛感します。
さらに歩みをすすめていく中で、時代に適応しながらも、しかし時代に翻弄されずに人としてあるべき原理原則を追求していくことが我々の使命ではないでしょうか？
一緒に夢を、未来を、希望を築いていきたいのです。必ず、想いは、かなうと信じて。

守山市議会 副議長 **堀井隆考**